

# イチゴ基核苗の生産・供給

バイオテクノロジー-開発部 資源開発利用チーム TEL:022-383-8131

## 研究の目的

県産イチゴは栽培面積193ha, 販売金額62億円(H16年産)で, 園芸作物の最重要品目となっている。イチゴの生産安定のため, ウイルスフリーで優良, 無病のイチゴ基核苗を(社)みやぎ原種苗センターに毎年配布する。

## 研究成果

昭和49年4月に宮城県原種苗センターが設立され, ランナー先端部を利用した茎頂培養によるウイルスフリー化, 及びウイルス判定技術を確立した。最近では, 培養苗利用による変異を回避するため, 完全隔離した母株から基核苗を増殖している。

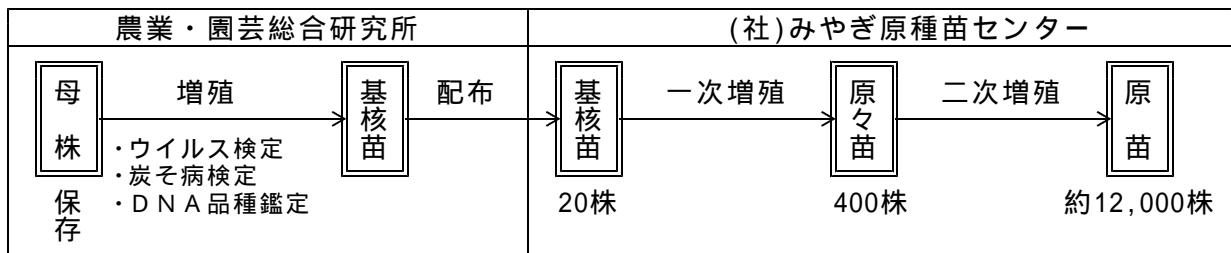


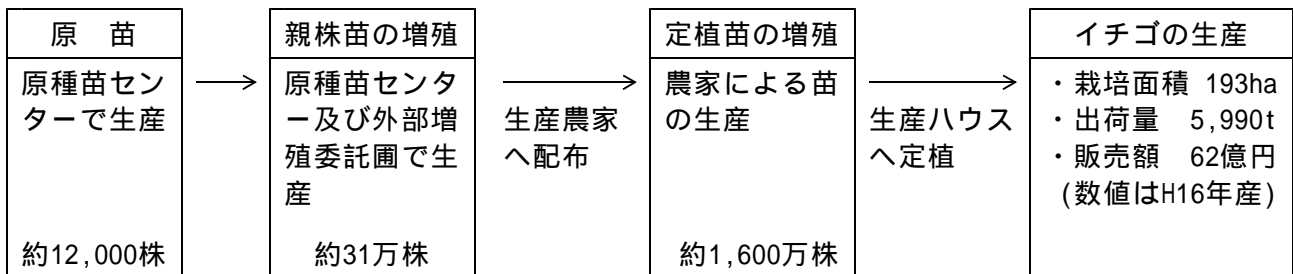
図1 隔離温室で増殖された配布用基核苗



図2 ウイルス検定のための接ぎ木

## 普及等の見込

生産農家までの苗の供給システムの普及により, イチゴの生産安定に役立っている。



宮城県  
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地  
TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)  
ホームページ: [http://www.pref.miyagi.jp/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/res_center/)  
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)

